## 上党・無所属ネット

〒540-8570

http://www.minshu-osaka.jp/

大阪市中央区大手前2丁目府議会控室

月定例会(後半)の民主代表質問

中川隆弘議員(副政調会長・豊中市選出)が質問に立ち、 所信表明に対する代表質問が行われました。 民主党・無所属ネット大阪府議会議員団を代表し、 ダブル選挙後の12月15日の府議会で、松井新知事の

# 知事に指摘 丁寧な議論を.

前知事の路線を継承する新知事と議論を交わしました。

# 橋下流の 「強引さ」 まで引き継ぐのか

府政の 承し、 質問: 3年9カ月の された。しかし、前知事の 発展させる」と発言 所信表明では 『変革と挑戦』 『変革と挑 橋下 を継

付け れるよう徹底的に議論を行 を目指す。 重ねていく 寧に説明し、 知事:府議会に対しては丁 て「結論ありき」 の姿勢で臨むのでな より良い結論を得ら いに論点を出し尽 そのため、 「対話の府政」 真摯に議論を 「押し

うとし、丁寧な説明で相手 ように修正していくの る点があった。これをどの 手法は性急に結果を求めよ ターの移転問題など、その 庁舎移転問題や成人病セン 戦』には明と暗があった。 に理解してもらうのではな 「押しつけ」と思われ か。

府民の所得を上げ、 役割と認識している。 盤づくりは、 民の安心・安全のための基 医療・福祉の充実など、 知事:子育て環境の整備や、 上げることが必要。 していくためには、 この役割を持続的に果た 行政の重要な 税収を 私は、 やはり、 府

いたい 決定の遅れが許されない場 至れば、「決断」 論点を出し尽くし、徹底的 ればならない。 に議論を行い、 合もある。 そして、政治の役割は、 また、意思 その時期に をしなけ

おいて、 は、これを真摯に 受け止め、行政と 判断されたものに してきちんと取り のルールに則っ 私は、 民主主義 府議会に

んでまいりたい。



代表質問で松井知事の答弁を聞く民主質問者(写真左)

## 『子育て』 『医療・福: 祉 一はどうするの か

たように思う。 どう考えているか。 所信表明でもこれらのこと 療・福祉」の項目がなかっ ストには、「子育て」「医 質問:知事の選挙マニフェ に触れられていなかったが また、この

大阪という都市が、 日本の

> 中 を引き寄せる「稼げる」 を増し、ヒト・モノ・カネ 市として発展し、その アジアの中での存在感 都

を大阪で実現したい。 ていく、こうしたサイクル ための基盤づくりに投入し を府民の安心・安全の

#### プラスワン・ル ĺ ル は継 承 な (1 **ത** か

ル」をやる、

やらないと

ŋ ルー 質問:前知事が行ってきた 過半数を有する大阪維新の 知事:「プラスワン・ の会派の賛成が必要とする 会での賛同のルールとして 会に加えて少なくとも1つ プラスワン・ルール」 と聞いているが ル を知事は 「しな (議 1 理して、 たい。 うよりも、

時間があるので、

論点を整

議論をし尽くした

しかし、

最終的には

全会一致で議決をいただき

気持ちとしては、

ルに沿った決断をお願

ときには、

民主主義の

被災地に視察し、

9月定例会(前半)で橋下前知

に質問

単独では備蓄が難しい物資

日本大

震災から

何を学

討を進めてい

11

< 0

併せて、

関西広域連合でも共同備蓄

Ŕ

の検討を始めており

物資等の

確保

あ

方の

検

(2)

第1面の9月定例会(後半)の代表質問のつづき

# Ħ, 町 村が太陽で 府は

# 府内市町村との関わりを問う

挙の 質 問 . 遂げる」との思い ル大阪で大阪の再生を成し 市町村が輝き、そして、 サイド 勝敗がついたところで、 知事は今回の知事選 として、「オ か。

ち には える。 事だとの認識を知事はお持 信頼関係・協同・協調が大 大阪府の元気や活気だと言 大阪全体の底上げの やはり、 市町村と ため 0)

いうが、

体として輝く。そ

そのことが

に、

大阪府総

質問:私たちは、

そこに住む住民が元気で生

知 事 ·· 住民サー が最もよく見える市町 住民から受益と負担の関係 地域の実情を把握 -ビスを総合的に担よく見える市町村が

するか。

どのようなメッ

いう市町村の声に、

ょ

していくのが、 連絡調整機能に一層重点化 広域的機能や市町村の補完、 1, 府は広域自治体として 目指すべき

相互の役割分担の分権改革の姿。 とも、 阪で取り組めるよう、 大阪再生へ向け、 ていきたい。 市町村としっかり オ 0 もと、 ル

大阪の底上げには市町村主体が不可欠 連携・協調できる関係を築

## 町 村が選択で きる交付金化を

められていた感がある」と る」「大阪府の幸せという 変などで負担をかぶってい 「大阪府は単年度黒字だと を行ってきた。このなかで 府政についての意見交換会 市町村長と今後の大阪 大阪府庁の幸せを求 市町村が事業の改 W選挙後 知事は ・ジを発 る場合、 分担や必要性の観点から見までも府と市町村との役割 策や事業については、これ 知 事 知事 方式を取るべきではない 町村が選択する交付金化の かやらない 今後、 の重点施策を進められ 市町村に関連する施 「この事業をやる 市町村との連携で か」という選択 か

今後 大

کے 質問 9 かり受け止め、

## の信頼関係を築きつ 府と市

**ത** 

えて 村が、 目指す観点から、 交換を行ってはどう 単位での開催も含め、 村長会、そして、 見交換会がたびたび行わ いくことは重要 知事も、 より緊密な関係の 市長会・ ブロッ か。

> 一てきたもの。 きるよう、

さつつ、市町村

実情に応じて事業を選択でこれまでも市町村が地域の市町村補助金については、 これまでも市町村が出組んでまいる。

らないよう努めてきた。

単なる負担転嫁とな

市町村と十

分に協

しを行

ってきたが、

その

今後とも、

市町村

の声を

・ビス の向 上に取り 交付金化を図ってまいる。め、可能なものについては、個々の補助金の役割を見極

主性を高める観点から、

後とも、

府民サー

交付金化を進め

## )意見· 交換会を開 長会・町村長会など様

知事:地域のことは地域自 らが決める真の地方分権を 長会及び町村長会との意 地域のことを一緒に考 橋下知事時代には、 府と市 意見 町 れ

の協議の場」をはじめ 事が設置した「府と市 案・協議を行うために前 立案段階から、 マネジメントにより、 知事と市町村長がトッ 政策 前 市村

つために前知 双方向に提

9月定例会(前半)の他の代表質問項目 ○阪神高速道路料金 ○高校中退防止の取組み

#### ク Ł

○学力調査(小中)の学校別公開

○がん検診を進めるために 発達障がい児等の療育支援

見交換を行ってまいりたい 機会を通じて、 市町村と意

々

な

○府庁舎のあり方

○入札制度の問題点 ○指定管理者制度のあり方

○ピースおおさか

○円高における中小企業への支援

○成年後見制度 介護保険制度の理念と実情

#### 9月定例会(後半)の他の代表質問項目

○秘書の給与に関して

○職員基本条例

○エネルギー政策

民主党・無所属ネット

51172

○咲洲庁舎のあり方

※本文で紹介した代表質問の内容以外にも、以上の項目について 民主会派の活動は

質問を行いました。 詳細は、民主党・無所属ネ 大阪府議会議員団のホームページ

災地において、 ともに変化する被災者 よう体制を整備して かかる連絡・ ンター 祉協議会にボランティ 今後は、 ズを把握し、 この際には、 を立ち上げ、 必ず

○教育基本条例 そのニー ア 0 る。 11 をご覧下さい。

府としても広域 調整を行える 時間経過と 各方面 しも円 セ 11 二 て

で大規模な災害の発生に備 であるが、今回の震災の被の様に繋げていくかが重要 アニーズの把握及び派遣に から寄せられるボランティ 今回の被災地におけ 災害時に大阪府社会福 その る

で受け 滑に機能したとは言えな を支援・応援する側に、 ボランティアにつ 入れることとしてお

対応状況等を検証し、

#### <u>立</u>ち、 市旭区選出) ちの会派を代表して、 る方のお話を聞くなど貴重な経験をいたしました。 皆様に心からご冥福をお祈り申 そこで、 私たちは、 東日本大震災において、 避難生活をされている方や支援活動をされてい地震や津波による甚大の被害が起こった現場に 9月定例会(前半) が東日本大震災での復興支援や今後の危-表して、冨田健治議員(政調会長・大阪 昨年7月下旬に岩手県被災地を視察しま 尊い命を失われた犠牲者の の代表質問では、 し上げます 私た 年度の地域防災計画の見直 0) 検討を進めている。 としてその策定に参画し、 柱とした広域防災計画につみや原子力防災対策などを しに反映させていく。 対策をはじめとしたソフ 面の取組みを中心に、 関西広域連合

これら

大阪

が被害を受け

たときの受援体

制は

0)

員

こう

した点を踏まえ、

府で

まれる物資について検討を

やスケー

・ルメリッ

が見込

は避難者のニーズに対する

進めて

11

#### 主軸を明 が確に した防災計画の 見直 U を

被害想定等に関する知見が

った。

大阪が被害にあった

ときの受援体制につ

いてど

整備している。

を策定し、

受援体制を

のように取り組むの

か

示される見込み。

れれば、

直ちに府の この知見

危機管理監:

大阪府では、

3か所にある広域防災拠点

あり

方を検討す

る

岩手県沿岸部にある

大槌町。庁舎が津波

救援物資については府内

東海・東南海・

南海地震の

け入れができない状況も から来たボランティアも受

あ

「広域的支援部隊受入計

円滑な救助活動ができるよ 支援活動拠点等に受け入れ

会議の専門調査会において

て、

来年夏以降、

中央防災

こともあった。

また、

各地

加え

救援物資の受付を中止した

を受け入れる余地がなく

今

震災直後、

倉庫に救援物資

のために、

消防・警察・

自

大規模災害による人命救助

衛隊等へ応援要請

した場合

これら応援部隊を後方

質問:東日本大震災では、

機管理対策などについて、

質問を行いました。

ては、 めるべき。 防災計画の見直しにあたっ 応など多くの課題がある。 の影響を踏まえた今後の対 特に津波対策や原子力災害 の被害想定を大きく上回り **質問**:この震災はこれまで 主軸を明確にして進

知 事 · · 津波はもとより大雨洪水、 災対策の総点検を実施した。 の教訓を踏まえ、 しについて、 地域防災計画の見直 東日本大震災 直ちに防

広域的· 見直しを指示した。 土砂災害、 な応援・受援の仕組 また、

この

秋から事前の 見直しに入れる

府県を越える災害対策では こり得ることを前提とした 定を上回る災害が実際に起 自然災害にあたっては、想 高潮災害などの が示さ

## 共同備蓄の 検討状況は 査等に着手したいと考えて 被害想定の る

質問.. 応できたも 糧や水は物資応援により 今 回の震災では、 0 0) お風呂や 食 対

代表質問で答弁する橋下前知事 が必要。 共同備蓄の 融通できる体制をとること おり、 レが不足したと聞 今後、 関西広域連合でも 検討が進められ 共同で備蓄

11

7

期化とともに、避難 食糧・水や毛布など、発 危機管理監:この震災で 直後に必要とされる物資だ で検討されているか。 など避難者 避難所生活の 0 浴槽の -ズも変化。 提供長 発災

## 昨年7月の岩手県被災地への視察の状況

ているが、どのような視点

氏総合体育館前(避快察しました【写真人阪府議会議員団が20日にかけて、民主





建設には地域材を活用した木材の集成パネルを使い、高齢 者や子育て世帯へのケアを重視した住まいになっている。

#### 三哉 頭

う」と謳われています。しか 要なサービスに係る給付を行 を営むことができるよう、 能力に応じ自立した日常生活 法では、「要介護の高齢者が、

必

ービス提供のためにも、介護 皆さんへの、よりよい介護サ 設に入所されている高齢者の

特養の場合、元気になっ

措置を講ずるべきと訴えまし 施設等に対する成功報酬的な 度が下がる等の成果を出した

康福祉 常任委員会

問に立ち、 まで)では、

「高齢者の介護報酬制度の矛盾について」「府 しばたに府議が健康福祉常任委員会での質



まさや

#### ,ばたに匡

大阪府議会

健康福祉常任委員会委員 決算特別委員会委員

#### センターのあり方の再検討を 利用者にとって有益となる これに対し、しばたに府議

障がい者スポーツの振興

決意を新たにしています。 反映させていきたい。」

,を、議会を通じて府政に

があり、府民の皆さんの声をどう活かして行くかが、今、 ました。すべての質問に「府民の声」というキーワード 立稲スポーツセンター条例廃止の件」 以下、しばたに府議の同委員会での主な質問内容をご 報酬には反映されない」とい う制度上の矛盾を指摘し、施 念とは裏腹に、 酬が減る。 等について質問し つまり、 「成果は介護 制度の理

報告します。

大阪府政に問われています。

## スポーツ施設廃止を提案 府は障がい者のための

よりよいサービスの提供を 介護報酬制度の矛盾解消で

しばたに府議は、介護保険

する旨の条例案を提出しまし 今定例会で、センターを廃止 体育館があるとの理由により 分担や、周辺に同規模の市立 いて、府は、 ツ振興に関する府市の役割 府立稲スポーツセンターに 障がい者スポ

もので、 まる形となっています。 安や、府に対する不信感が高 に決定事項として進められた 住民の意見を聞かずに一方的 この提案は、施設利用者や 利用者の皆さんの不

## 9月定例会での 質問を終えて

用されている皆さんの声を の現場や福祉サービスを利 マネージャーとして、福祉 にわたり社会福祉士、ケア たに府議は、「私は、 9月定例会を終え、しば 長年

状が明らかになりました。 に充分反映されていない現 の皆さんの声が、府の政策 の質問では、これら、 お聞きしてきました。 今後とも、皆様の切実な しかし、今回の府議会で 府民

#### 橋下前知事も 矛盾はある

平成23年9月定例会(平成23年9月20日から12月21日

けていく」との意向を示しま 上で、「きちんと国に働きか し、橋下前知事も、「確かに 度の矛盾についての指摘に対 矛盾はある」と見解を述べた しばたに府議の介護報酬制

る利用者の皆さんにとって、 た切実な活動なのです。 は、

*(*) まさに「生きる糧」「生きる かし、受け皿となる関係市で 希望」であり、生活に密着し けとなる等、社会的弱者であ ではなく、社会参加のきっか そして、同センターは、そ 翼を担ってきました。し 単なる健康維持の為だけ まだまだ十分な支援まで

を得られる対応策を検討し、

を重ねた上で、利用者に理 なく、関係市との更なる協議

ては、早急な廃止ありきでは

稲スポーツセンターにつ

しまいます。

改めて今後のセンターのあり

方を検討すべき、と訴えまし

た。

この廃止条例案については

継続審議となっています。 しばたに府議らの訴えにより



<mark>しばたに府議</mark>のケアマネージャ 「たに**府議**のケアマネージャー・社会 士の知識と経験を活かした指摘に橋下 「矛盾はある」

が実情です。 至っていない

とって、極めて ろか、利用者に を生みだすどこ とで新たな効果 役割を見直すこ ついて、府市の ポーツの振興に は、障がい者ス を廃止すること 況で、センター 不利益となって このような状